



DNW-18023 の概要

課題番号 : DNW-18023

課題名 : 分泌型シアル酸認識レクチンを用いた組織再生促進作用を持つ
自己免疫疾患治療薬の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

山本 朗仁 (国立大学法人徳島大学大学院医歯薬学研究部)

課題番号 DNW-18023 では、分泌型シアル酸認識レクチンを用いて、新たな組織再生促進作用を持つ自己免疫疾患治療薬の創製に取り組んでいる。

- 創薬コンセプト :
歯髄幹細胞培養上清由来の分泌型シアル酸認識レクチンの M2 マクロファージ誘導活性、M1 マクロファージの炎症形質抑制、破骨細胞分化の抑制などにより自己免疫疾患の病態において組織再生効果を発揮する。
- ターゲットプロダクトプロファイル :
多面的な治療効果によって組織再生が可能な組み換えタンパク質製剤
- 創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス :
以下のことが PI らにより報告されている。
ヒト歯髄幹細胞の培養上清の抗関節リウマチ (RA) 因子、分泌型シアル酸認識レクチンを同定した (Ishikawa J. et al. *Bone* 2016)。マウスの関節炎惹起後に分泌型シアル酸認識レクチンを静脈内投与すると、損傷した関節に集積し、リンパ球や単球系細胞の抗炎症・組織再生能力を活性化、関節骨・軟骨の再生を促し RA を治癒に導く事を明らかにした (Matsumoto T. et al. *Arthritis Res Ther* 2016)。
- 最終目標 :
分泌型シアル酸認識レクチンを用いて、新たな組織再生促進作用を持つ自己免疫疾患治療薬の実用化の可能性を検証する。

本資料は、創薬総合支援事業 (創薬ブースター) による支援の終了時の情報をもとに作成しています。